

京都では、台北の小学・中学・旧制高校から京大卒の主人が
 経営する 音楽喫茶と洋菓子・パンの店

思い出と憩いの場「柳月堂」へ

京阪電車・京都線終点 出町柳 駅前 一

叡山電車への乗り換え前や

八瀬・貴船・鞍馬からのお帰りにはお立ち寄りを!

京都市左京区田中下柳町5-1 Tel. 075-781-5161

榕樹文化 第79・80号

榕樹会 会報 Nos. 79 & 80

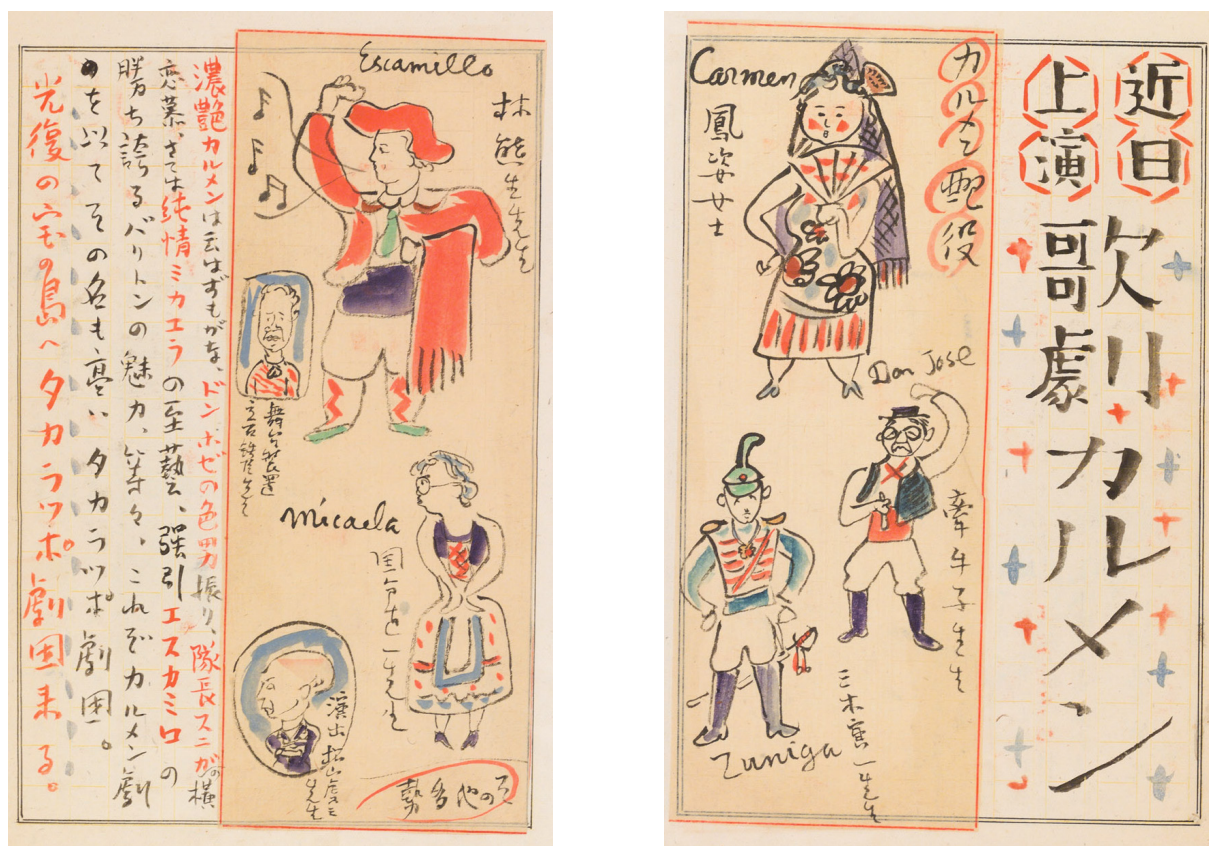
(2023年 春 - 夏季号)



台湾国立清華大学図書館所蔵の本誌

目次

228事件	杜祖健	1頁
北白川能久親王の御生涯と最期の謎 —忘れられた、もう一人の「天皇」—	内藤 史朗	3頁
台湾留用日本人の足跡を追って (5) —金関丈夫先生の常識講座—	安溪 遊地・ 安溪 貴子	8頁
台湾元日本兵の戦後補償問題	多山 順一	21頁
チェコ共和国首都プラハ 地下鉄における化学テロからの予防と防御	オタカルJミカ・ 杜祖健	35頁
編集後記 等	編 集 子	40頁
写真頁		42頁



『回覧雑誌』第七号 光復の宝島へタカラッポ劇団来るの広告

「榕樹文化」79・80号
 榕樹会会報 Nos.79 & 80

発行日 2023年4月30日
 発行者 園部逸夫
 編集者 内藤史朗
 発行所 京都市北区上賀茂北大路町 25-13 内藤史朗方「榕樹会事務局」

228事件

杜祖健

1947年台湾で起きた台湾史上最大の出来事である。

この事件が起きると当時の行政長官であった陳儀は台湾人を欺瞞して要求を受諾したと発表した。実際には援軍を大陸に要請していた。3月10日頃に基隆から上陸した中国兵は町で人を見ると撃ち殺すという具合だった。当時父は国立台湾大学の医学院院長であった。中国からの援軍が来る前に台湾人は各地で228事件処理委員会をこしらえた。父は忙しいのでその委員会に出られないので代わりに施江南氏に出てもらった。その後彼は中国人に暗殺された。父が医学院長の時台湾人の弁護士が会いに来て、父が暗殺されるリストにのっているから早く隠れた方がいいと知らせに来た。父は了解と返事して二階の院長室から外を眺めていた。その父に危ないと知らせた弁護士が中国兵に捕まえられて連行されるのを見た。これがこの弁護士の最後で彼は後に暗殺された。

数年前日本に行ったとき旧姓邱さんという台湾人のお医者さんが私の父が彼の父に匿れなさいと知らせてくれた。その弟にアメリカに一度お会いしたことがあり、私は父が隠れたことは知っていたがそれがどこか知らなかった。今度その弟の方に会い父のことを詳しく知りたいと思う。

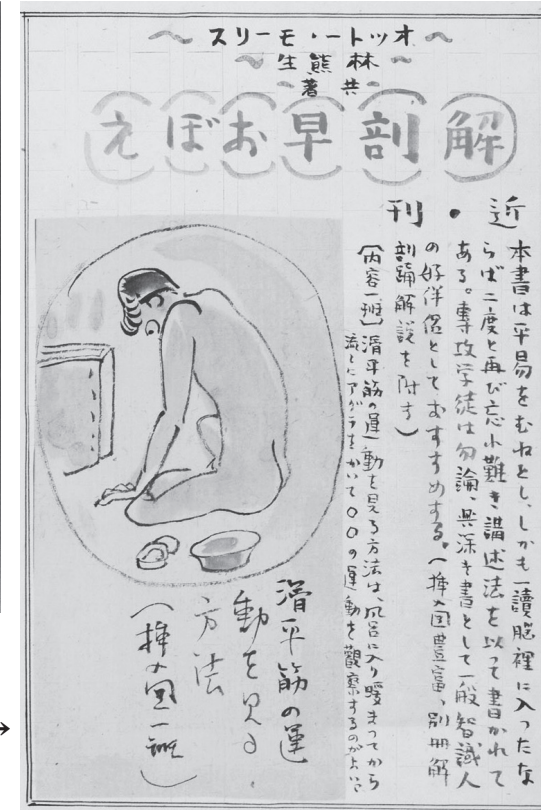
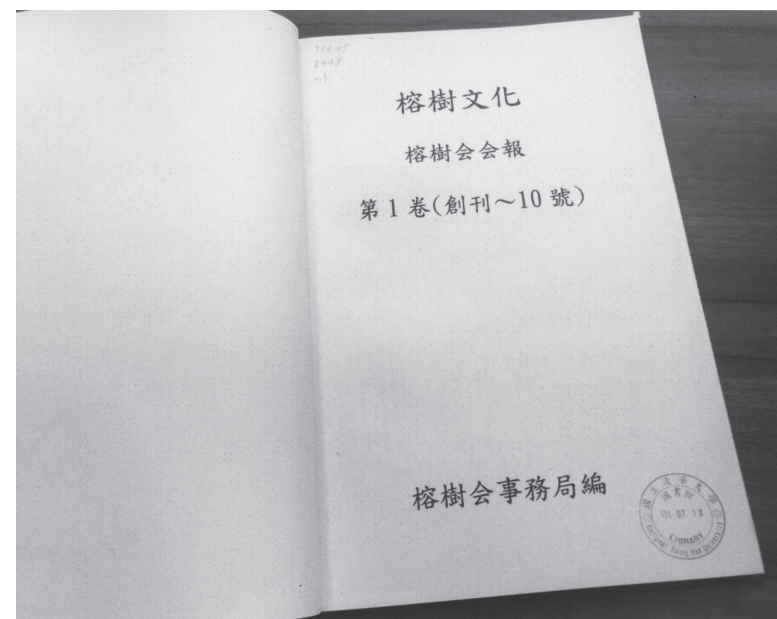
228事件の時中国兵と実際に戦争したのは台中で組織した共産党の謝雪紅であった。しかし台湾人は共産党と一緒にいたがらないので謝雪紅と決裂した。それから中国兵と実際に戦争したのは嘉義の中学生であった。しかし台湾人は武器を持っていないので最終的には敗北し

た。台北でも建国中学の学生が中心となって中国兵と戦争するつもりであったが他の中学の連中が参加すると言ってくるので中止になった。中国の援軍が基隆に上陸して以来建国中の1年上の上級生はみな牢屋にぶち込まれた、台北の大きな薬局の息子の李名楊君はやはり逮捕された。彼は釈放された時、話してくれた。彼の家に中国兵が彼を逮捕に来た。彼のポケットに彼の部下として私の名前があった。中国兵は彼のポケットを検査した。当然私の名前が載っていた紙を中国兵が見たが、彼らは字が読めない。それで彼は昔の東本願寺が臨時の牢屋になっていた。その時に彼は名簿を細かくちぎって便所の中に捨てた。それで彼は当局は君の事を知らないから安心して言うたのでほっとした。

暫く身を隠していた父にいきなり中国兵がやってきた。父は捕まえに来たのかと思いきや自分で自分もお終いだと覚悟した。中国兵に護衛された外省人が友好的に頭をさげ省政府が父を政府委員に任命したと知らせてくれた。捕まえに来たと思っていた父は思いがけない出来事にほっとした。省政府委員は全部で15人で省政府の政策顧問でもある。地位は省政府主席と同等であり、車が1台配置された。15人のうち外省人が8人で台湾人が7人である。これはわざとこうして台湾の政策の投票するとき外省人の言う通りにするためであった。7人のうちもう一人は母の叔父林献堂が同じように省政府委員に任命されたのでその2人は我々の親戚であった。

国民政府の暗黒統治

1949年国民党は大陸で敗北し約200万人の中国人が台湾に流れ込んだ。中には金持ちの中国人もいるが、大部



オットー・モーリス 林熊生共著近刊広告 → 人物は國分直一先生がモデルか（第七號）